

麻しん（はしか）患者の発生について

10月19日（金）、名古屋市中区の医療機関から名古屋市保健所に情報提供があり、名古屋市衛生研究所が遺伝子検査を実施したところ、10月22日（月）に麻しん陽性であることが判明しました。その後、本市が患者の疫学調査を実施し、下記の内容を把握しました。

名古屋市保健所等は、健康観察等を実施するとともに、市民のみなさまへの周知・啓発に努めていきます。

今後、本市における麻しん（はしか）の発生状況等は、新しい患者等が確認された都度、患者の行動等に応じて本市公式ウェブサイト又は市政記者クラブへの資料提供により情報を提供していく予定ですので、よろしくお願い致します。

1 患者について

(1) 概要

20歳代 男性 中区在住 留学生 ワクチン接種歴 不明

(2) 行動等

- ・10月1日以降、自宅、大学（愛知県犬山市内）、アルバイト先（名古屋市中区のコンビニエンスストアA）及び医療機関A（中区）以外の施設利用はありません。
- ・なお、大学への通学は、地下鉄名城線右回り、地下鉄上飯田線経由名鉄小牧線を経てスクールバスを利用しています。

10月1日（月） 大学通学後、コンビニエンスストアAにてアルバイト勤務

10月2日（火） 大学通学後、コンビニエンスストアAにてアルバイト勤務

10月3日（水） 大学通学後、コンビニエンスストアAにてアルバイト勤務

10月11日（木） 大学通学

10月12日（金） 大学通学後、アルバイト勤務（夜勤）

10月13日（土） 発熱症状（37.8℃）

10月14日（日） 自宅待機

10月15日（月） 発疹出現、自宅待機

10月16日（火） 大学通学（9時50分頃から10時40分頃 地下鉄名城線右回り、地下鉄上飯田線経由名鉄小牧線の最寄り駅に到着、10時50分頃発のスクールバスを利用）

12時40分頃に講義が終了、大学の保健室を訪問後、名古屋市内の医療

機関A（中区）を受診

10月17日(水) 自宅待機
10月18日(木) 自宅待機
10月19日(金) 自宅待機（医療機関から名古屋市保健所に情報提供あり）
10月22日(月) 名古屋市衛生研究所による遺伝子検査の結果、麻しんと確定

2 麻しん（はしか）について

- ・今後、さらに麻しん（はしか）が広がる可能性があるため、麻しん（はしか）を疑う高熱と発疹の症状が現れた場合は、事前に医療機関に連絡し、麻しん（はしか）を疑う旨を伝えた上、医療機関の指示に従い早急を受診していただくことが大切です。また、受診の際は、周囲に感染を拡げないように公共交通機関の利用は避ける必要があります。
- ・1歳（第1期）と小学校入学前年度（第2期）に、MRワクチンの定期予防接種を忘れずに実施することが肝要です。また、妊娠している方は麻しん（はしか）ワクチンの予防接種ができませんので、ご注意ください。

3 参考

今回の麻しん患者の発生で、平成30年度の愛知県内の報告数は35例目になります。